

JR 5 駅に募集ポスターを掲示



学生が賑わう 淵野辺駅

毎月更新されている
淵野辺駅掲示版

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚 3 陸尉）は、7 月 3 日（木）、相模原市の 5 箇所の JR の駅に自衛隊募集用ポスターを掲示した。

この掲示は、相模原市への申請に基づき、南橋本・相模原・矢部・淵野辺・古淵の各駅に掲示したものである。

8 月から最も重要な募集時期を迎えるが、学生が多く行き交う淵野辺駅をはじめとする各駅に掲示された自衛隊募集ポスター「JAPAN PRIDE」の効果に期待がかかる。

相模原地域事務所は、「今後も地域の協力を得ながら、自衛隊への関心がより高まるよう積極的に PR していく」としている。

高工校生徒から近況報告



梯隊長を任された生徒

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚 3 陸尉）に、昨年度、高等工科学校に入校した生徒から梯隊長を任されている凛々しい写真が届いた。

写真は、区隊長から保護者を通じ、担当広報官のもとに届けられた。元氣そうな姿に相模原所員一同、「立派になったね」と声を揃えた。

相模原地域事務所は、「今後も将来を担う若者たちに夢や希望を与え、入校・入隊者の幸福につながる募集広報に邁進していきたい」としている。

大和商業高等専修学校 厚木航空基地で「総合的な学習の時間」

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 小谷 2 海尉）は、7 月 17 日（木）、第 4 航空群（海自厚木航空基地）において、大和商業高等専修学校の生徒 13 名（教諭 2 名引率）が参加した「総合的な学習の時間」を支援した。

学習では、概要説明、資料館見学、固定翼哨戒機（P-130C）見学、体験喫食、管制塔見学、ヘリコプター整備工場見学及び第 4 航空群司令との懇談が行われた。

概要説明では「どうすれば自衛官になれるのか」「どんな仕事があるのか」などの質問が相次ぎ、資料館の見学では制服の種類之多さに驚き、P-130C の見学では、熱心に説明を聞いてノートを取る姿が印象的だった。

また、管制塔見学では実際に管制官によって航空機が着陸する場面に立ち会い、ヘリコプター整備工場では操縦席に座りパイロット気分も味わった。

厚木募集案内所は、「今後も、「総合的な学習の時間」を積極的に支援し、生徒達が自衛隊を肌で感じ、正しく理解して貰うことで募集に繋がっていききたい」としている。